

精華町地球温暖化対策地域協議会 議事要旨

■日時・場所

○平成 30 年 2 月 16 日（金） 10 時 00 分～11 時 00 分

○精華町役場 6 階 審議会室

■内 容

1. 開会（事務局）

○資料の確認

2. イベント等の報告について（事務局・奈良交通）

(1) 愛称決定の報道・お披露目会について

- ・資料①を用いて説明。
- ・本協議会で決定した愛称「YELLOW LINER 華連」及び、黄色と黒を基調としたデザインのコンセプトについて、平成 29 年 10 月 6 日に精華町・京都府・奈良交通の 3 者で同時報道発表を行った。
- ・「せいか祭り 2017」の連携イベントとして、平成 29 年 11 月 19 日にけいはんなオープンイノベーションセンターにおいて開催した、連節バス愛称応募者表彰式、及び試乗会の報告。
- ・試乗された方を対象にアンケートを実施し、約 400 名の方に回答をいただいた。「連節バスにまた乗りたいか」や「連節バスが学研都市を走ることにについてどう思うか」の問に対しては、ほぼ全員から良い回答をいただけた。

(2) 連節バス関連のグッズについて

- ・資料②を用いて説明。
- ・連節バスの愛称やデザインが決まったので、愛着を持っていただけるよう連節バスの関連グッズを作成した。現在は第 2 弾のグッズを開発中。

3. 公共交通利用転換事業計画の施策の進捗状況について（事務局・奈良交通）

(1) 連節バスの運行に係る施策

①祝園駅前広場 拡張工事について

- ・資料③を用いて説明。
- ・一般車両から乗降されている住民の安全確保と、順調な企業立地に伴う従業員の輸送力強化、また、公共交通への利用転換のために欠かせないバスの定時性の確保に向け、一般車両と公共交通の分離を図るため、祝園駅前広場の拡張工事を行うもの。
- ・拡張の計画では、現在の駅前広場を公共交通専用とすることから駅前広場内に多く滞留している一般車両が、周辺の住宅内道路等において待機や乗降などをされないよう、必要な乗降台数を確保している。
- ・新しい一般車乗降場への円滑な交通誘導を図るため、右折レーンの設置を行い、併せて、

- 公安委員会へ新しい一般車乗降場出入り口の交差点に信号機の設置要望を行っている。
- ・車いすマーク乗降場は、エレベーターやトイレ等が近い場所に移設する計画で、利便性や安全性の向上が図れると考えている。
 - ・この拡張工事は、現在、工事に着手し始めており、3月末に完成予定。

②連節バスの運行ルートについて

- ・資料④を用いて説明
- ・資料内、青色の線で記載のルートが連節バスを運行するルート、緑色のルートが今後連節バスの運行を予定するルートと考えている。
- ・連節バスは、朝は住民が利用できるよう祝園駅に向かう系統に2便運行させ、企業の従業員用として祝園駅から発車する系統に6便運行させる予定。夕方は住民が利用できるよう祝園駅から発車する系統に5便運行させ、企業の従業員用として祝園駅に向かう系統に7便運行させる予定。
- ・連節バスの運行以外についても、通常タイプのバスの増便や、祝園駅から奈良登美ヶ丘駅への系統を増加させることで、地区内の住民の利便性を高めていく予定。
- ・計画にも謳われている公共交通への利用転換の状況を見て、さらに増便させていきたいと考えている。

③連節バスの出発式について

- ・資料⑤を用いて説明
- ・連節バスの運行に先立ち、3月16日（金）9時30分～、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）で連節バスの出発式及び試乗会を実施予定。

【委員意見】

（会長）

祝園駅前広場の拡張工事については3月末までに完成するように進められているが、奈良交通のダイヤ改正は3月17日と説明されていた。この間はどうか。

（奈良交通）

連節バスの運行開始は、拡張工事が終わってからと思っているが、近鉄のダイヤ改正が3月17日に実施されると聞いているので、ダイヤ改正はその日からとなる。拡張工事が完成するまでの間は通常タイプの車両で運行し、拡張工事が完成されれば、そのバスが連節バスとなる。

（委員）

既存のダイヤの一部のバスを連節バスに置き換えるのではなく、増便されるという意味で良いのか。

（奈良交通）

連節バスは増便となる。

（2）公共交通利用転換事業計画の効果検証について

- ・資料⑥を用いて説明。
- ・連節バス等の購入にかかる補助金をいただいた環境省に対して、5年間の効果検証を行

う必要があるため、モビリティマネジメントのチラシの作成と配布、アンケート調査を考えている。

- ・モビリティマネジメントのチラシは配布資料案のようなイメージで作成中、運行開始前の3月中には配布したいと考えている。
- ・アンケート調査については、平成30年4月からアンケートの調査票の検討を行い、立地企業・地域住民・バス利用者に配布したいと考えている。アンケートの集計を行った後、その数値を利用し効果検証を行い、9月頃に開催させていただく予定をしている協議会で報告予定。

【委員意見】

(会長)

モビリティマネジメント(MM)は自動車の過度な利用を控えて、公共交通を利用しましょうという取組みで、本協議会の目的にもなっている環境対策にも繋がる。買い物の際のエコバッグが広がったように、是非、連節バスが走るこの機会にモビリティマネジメントが進めば良いと思う。チラシを配布することにより、地域でも会話いただき地域の皆様で交通行動を変えていただければ配布した意義にもなる。

(事務局)

補足になるが、モビリティマネジメントのチラシについては、地域住民には精華町に協力いただき配布予定で、立地企業の従業員の方はチラシのデータを社内メールで送付いただく予定。

(3) その他の施策

①バスロケーションシステムの導入について

- ・資料⑦を用いて説明。
- ・道路渋滞等による遅延発生時のバス待ちがバス離れの原因になっていること、遅延発生のリアルタイムな情報を得られないことで案内が後手になることを解消するため、バスにGPSを搭載し、現在地情報を提供させる。
- ・精華町のエリアでは平成30年3月26日から運用を開始する予定。
- ・画面の表示イメージは資料のとおり。バスの現在地や、画面上で選んだバスの停車バス停、各バス停の時刻表等が画面を操作することで簡単に表示できるような仕組みとなっている。

②デジタルサイネージの設置について

- ・資料⑧を用いて説明。
- ・連節バス運行に合わせ、地域交通との結節点となる新祝園駅とけいはんなプラザにバスの運行情報や、地域情報や行政情報、災害情報等も発信できるタッチパネル式のデジタルサイネージを設置し、地域住民やバス利用者の利便性の向上を図る。
- ・インターネット回線を内蔵しているので、様々なコンテンツが開発可能となり、リアルタイムな情報発信ができる。コンテンツの内容については、今後関係者と協議をして決定していく。

③直通バスの利用者状況について

- ・資料⑨を用いて説明。
- ・平成 29 年 10 月から新名神高速道路を使うルートに変更して実証運行を継続してきた。
- ・地域住民の利用者はルート変更後、少し伸びてきており、1 便平均 9 人のご利用で、学研都市への通勤利用者は、ほぼ横ばいで 1 便平均 25 人となった。両便とも本格運行の目安として目標としている 30 人には満たないため、利用者等にアンケート調査を実施し、今後の方向性を検討していきたい。

【委員意見】

(委員)

バスロケーションシステムは今後、高齢化社会が進む中では、スマートフォン限定のシステムでは、利用しにくいのではないかと。

(奈良交通)

高齢化向けのスマートフォンも発売されており、今後はスマートフォンのご利用が増えるだろうと予測して、スマートフォン向けのシステムとした。

(委員)

まずは、このシステムを普及していくことが重要であるので、使いやすいようにしていただき、その先には誰にでも使いやすいシステムに発展させて欲しい。色々な ICT 技術が開発されてきているので、この協議会でも提案させていただけたらと思っている。

(会長)

デジタルサイネージは耐水耐熱等のハードルが高いため、まずは屋内に設置されるということだが、新しい技術が開発されれば簡易な物等をバス停に設置できるようになると思う。

機械を整備いただき皆さんでご利用いただくことにより今後の応用にも繋がるので、協議会でご意見をいただく中で、地域にとってより良いものになれば良い。

(委員)

会議の最初にご報告いただいた連節バスの試乗会で、華連に乗車させていただいた。乗り心地も良く快適で、この地区への通勤者の一人として非常に期待している。

モーダルシフトには基幹交通の整備と同様にラストワンマイルと呼ばれるバス停から家までの移動も重要で、計画書にも盛り込まれている。カーシェアやサイクルシェア等、ラストワンマイルの取組みはあるが、地域に浸透させるにはまだまだ仕組みが構築できていないので、ラストワンマイルの実現に向けて頑張りたいと思っている。行政や地域の協力は不可欠になるので、よろしく願いたい。

4. 今後の協議会のスケジュールについて (事務局)

- ・資料⑩を用いて今後の協議会のスケジュールを説明。
- ・次回 (第 8 回) は、平成 30 年度に、公共交通利用転換事業計画の効果検証として、アンケート調査等の結果を報告する場として、開催させていただきたい。
- ・平成 30 年度の年度末には、第 9 回として、平成 30 年度に実施いたします事業内容の報告

や次年度に実施予定の事業についてご協議いただきたい。

【委員意見】

(会長)

事務局から年に2回程度の開催予定と説明いただいたが、その際には、様々な取組みについてご報告、ご協議いただき、協議会の目的を達成できるよう、皆様で前に進められるような場にして貰えたらと思っている。

5. 閉会